

平成 23 年第 1 回定例会 - 2 (第 9 日 3/28)

○議長(浅野正明) ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長(浅野正明) 長谷川大議員。

〔長谷川大議員登壇〕

○長谷川大議員 ちょっと質問をさせていただきます。簡単にです。

議案第 11 号の平成 22 年度船橋市一般会計補正予算、これに関しまして、先ほどの委員長の報告では、「エアコン等の市民要望があるから賛成」と日本共産党の意見があっただけということでした。これはそのとおりだったのでしょうか。その点についてお伺いしたいと思います。

私がこの質問をするのは、この補正で計上されております空調設備の予算なんですけれども、この予算委員会が行われたのは震災後なわけでごさいます、このことについて何の話もなかったのかなということをお伺いしたいと思います。

それから、ちょっとよくわからなかったんですけど、きょうの議事日程にも書いてあるんですが、議案の第 1 号、船橋市一般会計予算で、市民社会ネットの組み替え動議に対しまして、日本共産党さんが賛成をしたということであります。これがちょっと僕、頭の整理ができないんですね。なので、このことについて、市民社会ネットさんの組み替え動議に対する日本共産党さんの評価するような意見があったのかどうか、それから、採決時に市民社会ネットの組み替えに日本共産党が賛成したことに関して、特段何の発言もなかったのかどうかを伺いたいと思います。

とりあえず 1 問目です。

〔予算特別委員長登壇〕

○予算特別委員長(上林謙二郎) 最後まで登壇の機会を与えていただきまして、ありがとうございました。(笑声)

まず、第 1 点の空調設備の関係でございますが、この見直しにつきましては、特に、質疑・討論ともになかったと記憶をしております。

また、2 点目の日本共産党の態度につきまして、この中で、先ほど報告しましたように、市民社会ネットの案を評価する発言はありましたが、ほかにはなく、また、採決時においても、特にどの会派からも発言はなかったように記憶をしております。日本共産党さんから、市民社会ネットさんの組み替え動議についての評価はあったように記憶しております。

〔長谷川大議員登壇〕

○長谷川大議員 まず簡単なほうから聞きます。

市民社会ネットの組み替えに賛成したじゃないですか。それで、これがもしこっち側の人も賛成して通っちゃったとしたら、最初に市民社会ネットの動議から採決をしていますので、共産党さんが主張することの、ごみの積立金だとかの話って全部吹っ飛んじゃうんですね、仮に通ったら。それなのに、それなのに、市民社会ネットの組み替えに賛成をしたというのは、理論的に何かおかしいんじゃないかなと思うんですけど、まあ、それはそれでいいとして(笑声)、そういうことだったんですねというのを、もう一度委員長に確認をさせていただきたいと思います。

それから、補正予算のほうなんですけれども、日ごろから、二元代表制だとか何とかって、格好いいことを言っている人がたくさんいらっしゃるんですけども、この補正がノーチェックだったというか、スルーされたということが、ちょっと意外なんです。

一般会計補正予算が約 57 億、歳入歳出、今回追加されたわけでありましてけれども、そのうちの学校建設費の校舎整備費で 34 億いくんですよ。57 億のうち 34 億のエアコンの整備費が計上されているわけなんですけれども、震災後、もう既に計画停電の話も出ていました。そして、この夏もかなりの電気の使用についての制限がされるような話も、もうかなり出ていました。

そんなときに、そんなときに、議会のほうからは何の話も出ずに、この 34 億円のエアコンの整備をスルーしたとは言わないけれども、認めてしまって、粛々とその予算の執行が行われることが、この議会として許されているのかどうかという議論ぐらいはあったのかなと思ったら、「何にもされませんでした」という話でありました。

それで、その地震の後に、小中学校の被害状況の一覧も配られたようなんですけども、市長、あるいは教育長、次長、管理部長、それから防災担当の副市長、建設担当の副市長、建設局長、現場をごらんになりましたでしょうか。

うちの地元の三山小、ここにも書いてあるんだけど、「エクспанションジョイントの破損、外壁剥落」なんですよ。それで、これくらいのコンクリートの塊が 4 階から落ちた。で、その震災の数十分前は、特別支援学級の子供たちがそこで花を植えていたんです。ということは、一歩間違えれば、ということなんですよ。

それからもう一つ、三山中なんですけど、三山中の体育館、「体育館のステージの上のモルタルが落下」とここにも書いてあるんです。モルタルもこんな山になったそうです、最終的には。それくらいポロポロポロポロ落ちた。大きい塊も落ちたというんですよ。しかも、20 分だか 30 分前まで卒業式の練習をしていたというんですね。

こういうことを紙だけで報告を受けると大したことないように思うんですけども、現場を見ると、エアコンつけるのが先か、校舎のチェックをするのが先か、判断をする必要があるんじゃないかというふうに思うようになるんじゃないかと思うんですよ。

それで、三山中の体育館、耐震補強を終わっています。三山小の校舎、耐震補強を終わっています。耐震補強をしたがためにとは言わないんだけど、耐震補強をして壊れはしなかったんだけど、その補強して強くなった分だけ、弱いところが出て

きたような気がするんですね。

本当に使えないエアコン、多分使えないと思うんですね、この夏は。その使えないエアコンをつけるお金 34 億円を、果たしてエアコンの工事に回していいのかどうか、そういう議論がなかったのかどうかを、予算委員長にもう 1 回伺いたいと思います。

以上です。

[予算特別委員長登壇]

○予算特別委員長(上林謙二郎) 再質問にお答えいたします。

先ほど申し上げましたように、1 点、2 点両方とも、エアコンの設置につきましても、そういう議論はなかったように記憶をしております。両方とも同じ答弁でございます。

(「質疑はありましたよ、質疑は」と呼ぶ者あり)

○長谷川大議員 了解です。

○議長(浅野正明) 質疑を終結します。